

平成
21年度
予算公表

お互いに支えあうことができ、
活力と魅力あるまちづくりを目指して

一般会計21億5,600万円の予算を編成

歳入
歳入の主なものとしては、町税が景気の後退により6億9,647万2千円で前年度比9・1%、約7,000万円の減となりました。地方交付税は前年度の実績等により3,000万円増の7億4,000万円を見込みました。この二つで全体の66・6%を占めています。

地方譲与税は自動車重量譲与税等の落ち込みにより前年度比13・9%減の2,900万円、国県支出金は道路改良事業費の減により21・9%減の1億5,399万9千円となりました。繰入金は、財政調整基金からの繰入の減により、53・2%減の6,134万6千円、町債は臨時財政対策債のみで1億7,710万円です。

平成21年度当初予算が3月定例議会でも可決されました。一般会計の予算総額は、21億5,600万円で前年度に対して1億900万円、4・8%の減額となりました。また、財源不足となる5,402万9千円は町の貯金である財政調整基金から繰り入れるため、予算の執行段階においても歳入の削減と歳入の確保に努め、財源不足の解消を図ります。

特別会計の予算総額は、5会計合わせて12億3,180万円で前年度に対して5,090万円、4・0%の減となりました。これは主に老人保健特別会計が過年度分の精算等だけとなるため、大幅な減となることによるものです。公営企業会計である水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政状況は、町税の大幅な減収が見込まれる一方で公債費は依然として高水準であり、社会保障関係経費の自然増などにより構造的に極めて厳しい状況にあります。そのため、経常的な経費の増加を抑えつつ投資的な経費を削減し、財政調整基金の取り崩しを最小限に抑え、後年度の財政運営を考慮し予算の編成を行ったところです。新年度予算と主要な事業についてお知らせします。

歳出

本年度の主要事業は、武田古原線 期道路改良事業及び並木郡根岸線道路改良事業で、5,500万円を計上しました。



道路改良が進められている町道並木郡根岸線

その他の重点事業について

では、次ページの主な事業一覧のとおりです。なお、町債（借入金）の返済経費である公債費は、前年度比1・9%減の4億251万1千円を計上しました。

町債の借入残高は平成21年度末で約27億3,400万円、5・9%減となり、町民一人当たりになると約41万円、前年度比で約3万円の減となり年々減少してきます。

また、国の補正予算等に伴う繰越事業については、定額給付金給付事業をはじめめとして総額約1億9,800万円です。

()内は前年度比

特 別 会 計		
国民健康保険	6億9,680万円	△24%
後期高齢者医療	5,210万円	△13.6%
介護保険	4億790万円	9.3%
老人保健	100万円	△98.4%
給食センター	7,400万円	0.0%
合 計	12億3,180万円	△4.0%

水 道 事 業 会 計			
収益的	収入	1億6,059万6千円	0.8%
	支出	1億5,003万6千円	0.3%
資本的	収入	1万1千円	0.0%
	支出	7,587万7千円	△8.0%